

ブラジルに対する省エネ専門家派遣を実施しました。

【事業と活動の概要】

省エネルギーセンター（ECCJ と称す）は、経済産業省の委託を受けブラジルで「節電・ピークカット」を通じた省エネに貢献するため、以下のプログラムによる協力を3年計画（平成27年～平成29年度）で実施中です。

- (1) 協力工場（4工場）へのISO50001に基づくモデル的エネルギー管理システムの構築普及
- (2) 連邦政府及び州政府による省エネルギー推進のためのエネルギー管理制度・支援制度の整備支援
- (3) ピークカットの為のアクション・ガイドの作成支援

ECCJは平成28年9月8日～16日 および12月5日～15日の期間、現地に職員を派遣し活動状況の確認と支援活動を実施しました。



(1) セメント、自動車、アルミ製造、亜鉛製造分野の企業の協力を得て着実にエネルギー管理システム（EnMS）の構築を推進中です。また幾つかの企業では現地工場の枠を超え、同社のGlobal活動として展開しており、本プログラムの本質の深い理解に基づく取り組みを実施しています。

今後、これ等の成果をブラジル他企業へ水平展開する為の報告書作成等を行う予定です。

またプロジェクト完了後はブラジル官民共同事業のアライアンスプログラムに移行予定です。

(2) エネルギー管理規制・支援制度の整備に関しては、ブラジル連邦政府、サンパウロ州政府、産業団体（CNI, ABRACE）とワークショップを実施し活動方針の策定を行いました。

(3) ピークカットのアクション・ガイドに関してはブラジル版草案の策定のため政府・産業団体関係者と協議を行い作業体制を構築の上、次回訪問まで草案を作成する事を決めました。

以上の様に(1)～(3)に対する取り組みは確実に進捗して効果を上げています。

在ブラジル日本大使館とも以上の活動状況を共有し必要な指導を得て実施しています。

次回は平成29年3月に再び現地を訪問しさらに進捗確認とプロジェクト推進を行う予定です。